



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 八洲電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 3153 URL <http://www.yashimadenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 明夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 今町 和至

TEL 03-3507-3349

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	43,425	△23.4	222	△0.1	318	△1.1	123	708.4
25年3月期第3四半期	56,717	11.2	222	△68.6	322	△58.6	15	△94.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 348百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.66	—
25年3月期第3四半期	0.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,559	14,282	36.9
25年3月期	48,296	14,238	28.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,848百万円 25年3月期 13,827百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	△8.5	1,630	14.6	1,730	10.2	870	15.3	39.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	21,782,500 株	25年3月期	21,782,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,184 株	25年3月期	1,184 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	21,781,316 株	25年3月期3Q	21,781,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、円安の進行による企業業績の回復や、個人消費の増加により、景気は全般的に幅広く回復基調にあります。

このような状況下において、当社グループは、ソリューション機能強化による事業の拡大と更なる収益向上を目指し、顧客ニーズを的確に捉えた省エネ・高効率化の提案営業を推し進めてまいりました。これにより受注高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

一方、売上高は電子デバイス・コンポーネント事業のアミューズメント分野での大幅な需要減少の影響を受けました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は434億25百万円(前年同四半期比23.4%減)、営業利益は2億22百万円(前年同四半期比0.1%減)、経常利益は3億18百万円(前年同四半期比1.1%減)となりましたが、前期は有形固定資産の減損損失を計上したため、四半期純利益は1億23百万円(前年同四半期比708.4%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①システム・ソリューション事業

プラント事業分野では、国内鋼材需要は底堅く推移しており粗鋼生産量が増加しているなか、生産効率改善や老朽設備更新案件を中心に積極的な取組みを行った結果、売上高は好調に推移しました。

社会インフラ事業分野では、インフラの老朽化対策等に対応し、売上高は好調に推移しました。

産業システム事業分野では、設備投資需要案件や福祉施設などの新設案件に対応したものの、売上高は低調に推移しました。

システム・ソリューション事業全般にわたり、付加価値の高いソリューションを展開しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は363億77百万円(前年同四半期比2.4%減)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は15億13百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

## ②電子デバイス・コンポーネント事業

半導体市場における産業機器・通信分野では、産業用ロボット及びFA機器向けの需要が回復しつつありますが、未だ本格的な回復には至っておらず、売上高は低調に推移しました。

アミューズメント分野では、顧客の生産調整により液晶パネルの需要が大幅に減少したため、売上高は低調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は70億48百万円(前年同四半期比63.7%減)となり、セグメント損失(営業損失)は23百万円(前年同四半期は75百万円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は324億67百万円で、前連結会計年度末に比べ104億80百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(69億25百万円から54億19百万円へ15億5百万円減)、受取手形及び売掛金(271億24百万円から190億33百万円へ80億91百万円減)、未収入金(45億67百万円から32億97百万円へ12億69百万円減)が減少したことによるものであります。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は50億92百万円で、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少しております。主な要因は、投資有価証券(18億46百万円から19億96百万円へ1億50百万円増)、敷金(1億円から3億14百万円へ2億14百万円増)が増加した一方、土地(7億34百万円から5億57百万円へ1億76百万円減)、ソフトウェア(12億51百万円から10億44百万円へ2億6百万円減)、繰延税金資産(4億58百万円から3億2百万円へ1億56百万円減)が減少したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は232億77百万円で、前連結会計年度末に比べ107億79百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金(232億44百万円から142億13百万円へ90億30百万円減)、未払金(57億54百万円から48億86百万円へ8億67百万円減)、未払法人税等(2億58百万円から18百万円へ2億40百万円減)、賞与引当金(5億83百万円から1億99百万円へ3億83百万円減)が減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は142億82百万円で、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金(1億81百万円から3億61百万円へ1億80百万円増)が増加した一方、利益剰余金(110億24百万円から108億64百万円へ1億59百万円減)が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年1月22日に公表したとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,925	5,419
受取手形及び売掛金	27,124	19,033
有価証券	427	678
商品	3,127	2,951
原材料	5	6
未成工事支出金	86	214
仕掛品	62	136
未収入金	4,567	3,297
繰延税金資産	351	315
その他	348	474
貸倒引当金	△80	△62
流動資産合計	42,947	32,467
固定資産		
有形固定資産	1,327	1,107
無形固定資産	1,498	1,252
投資その他の資産		
その他	2,551	2,762
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	2,522	2,732
固定資産合計	5,348	5,092
資産合計	48,296	37,559
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,244	14,213
短期借入金	380	380
未払金	5,754	4,886
未払法人税等	258	18
賞与引当金	583	199
資産除去債務	66	—
その他	1,937	1,871
流動負債合計	32,225	21,569
固定負債		
長期借入金	270	154
退職給付引当金	1,401	1,392
繰延税金負債	3	7
資産除去債務	8	8
その他	147	144
固定負債合計	1,832	1,707
負債合計	34,057	23,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	11,024	10,864
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,646	13,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	361
その他の包括利益累計額合計	181	361
少数株主持分	410	433
純資産合計	14,238	14,282
負債純資産合計	48,296	37,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	56,717	43,425
売上原価	49,569	36,597
売上総利益	7,148	6,828
販売費及び一般管理費	6,926	6,605
営業利益	222	222
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	24	25
不動産賃貸料	39	18
その他	64	74
営業外収益合計	133	126
営業外費用		
支払利息	6	6
不動産賃貸原価	14	14
その他	12	8
営業外費用合計	34	29
経常利益	322	318
特別利益		
固定資産売却益	—	27
保険解約返戻金	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	151	0
その他	8	0
特別損失合計	160	0
税金等調整前四半期純利益	161	349
法人税、住民税及び事業税	124	100
法人税等調整額	△10	91
法人税等合計	114	192
少数株主損益調整前四半期純利益	47	156
少数株主利益	32	33
四半期純利益	15	123



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	47	156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	192
その他の包括利益合計	△57	192
四半期包括利益	△10	348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36	303
少数株主に係る四半期包括利益	26	45

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・コンポーネント事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	37,275	19,442	56,717	56,717	—	56,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	37,275	19,442	56,717	56,717	—	56,717
セグメント利益	1,354	75	1,429	1,429	△1,207	222

(注)1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

いずれの報告セグメントにも配分されていない将来の使用が見込まれなくなった遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1億51百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	36,377	7,048	43,425	43,425	—	43,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,377	7,048	43,425	43,425	—	43,425
セグメント利益又は 損失(△)	1,513	△23	1,490	1,490	△1,267	222

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、現在の当社ビルを建替えることを決議いたしました。

(1) 当社ビル建替えの目的

現在の当社ビルは、昭和37(1962)年竣工以来51年余りが経過していますが、このたびこれを建替え、新しいワークスタイルを目指し、最新のICT(情報通信技術)を積極的に導入したクリエイティブオフィスを創造し、一人当たりの生産性向上と収益力強化を図ってまいります。

また、防災への取組みなどのBCP(事業継続計画)対応を充実させるとともに、最新の環境・省エネ技術を駆使し、環境配慮型ビルを実現します。

(2) 当社ビル建替えの概要

所在地(現所在地に同じ) 東京都港区新橋三丁目1番1号

敷地面積 約690㎡